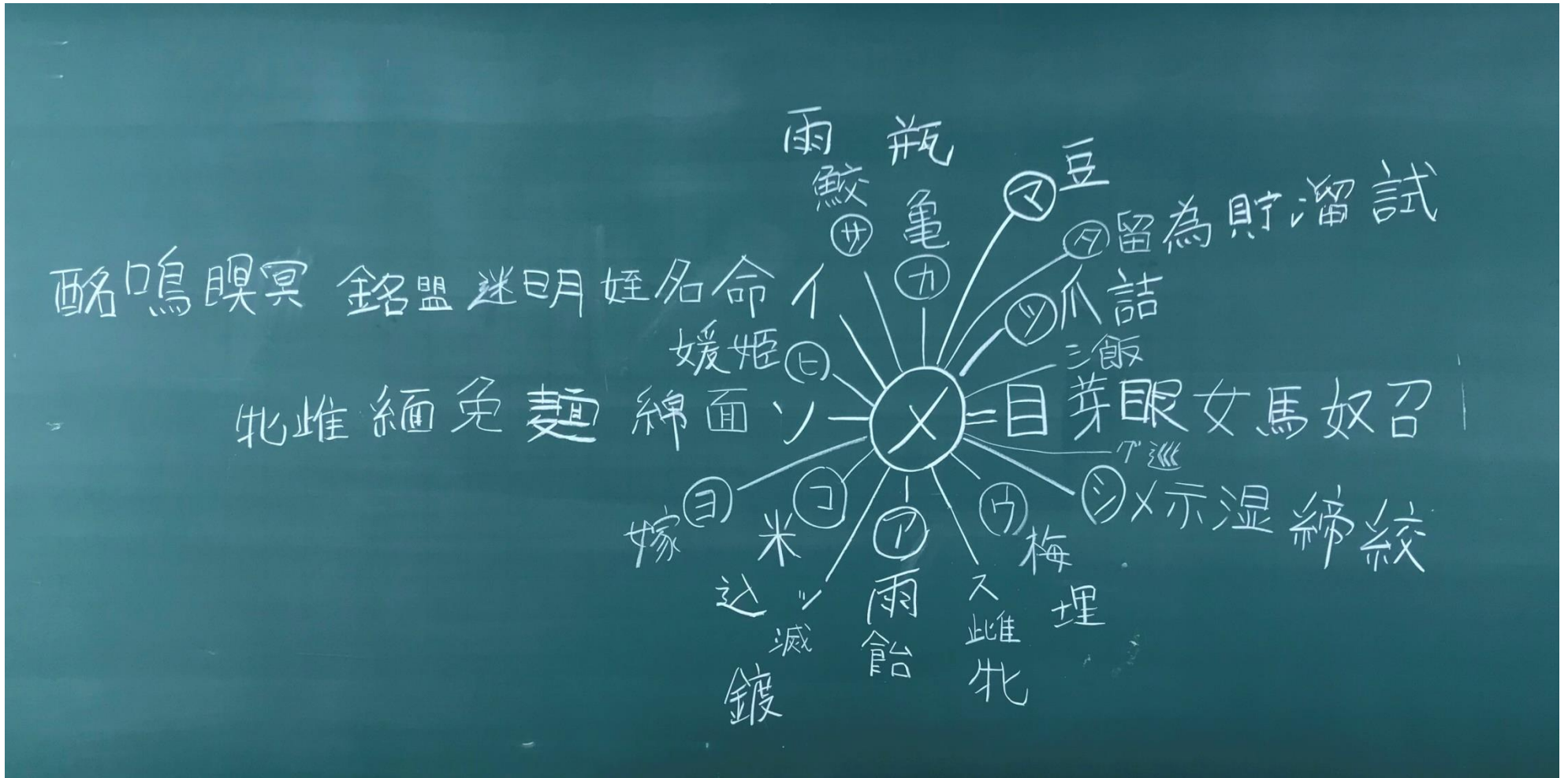


漢字の花火 ✕



「メ」が「女」なので、嫁も姫・媛も「メ」で終わるのではないか。

牝・雌は、「牝鶏」「雌鶏」のときだけ「メン」と読む。「めの鶏」から訛りが生じたのは、人々が頻繁にこのことばを使ったからだろう。卵を産む雌鶏は、それだけ重要だったのだ。